

学校名 熊谷市立別府中学校  
所在地 熊谷市西別府1817  
電話 048-532-6004

## 1 本校の概要

本校は、県北に位置する生徒数163名、各学年2学級並行の小規模校である。別府小学校から入学してくる生徒がそのほとんどを占め、生徒同士の仲がよく落ち着いた学校生活を送っている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

読書活動の充実

言語活動など学力向上に結び付けた取組

### (2) 実践の概要

ア 読書活動の充実に関する取組

#### ・図書集会の実施

11月18日の生徒朝会を利用して、図書集会を行った。今年は ①貸し出し図書調査の発表と表彰 ②「百万回生きたねこ」の読み聞かせを行った。



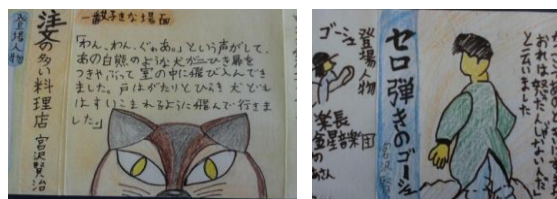
図書集会の様子

イ 図書の充実に向けた取り組み

- ・生徒がリクエストした本の購入  
全生徒を対象に読んでみたい本の希望を採り、その後図書委員会で検討し、採用された本について購入している。また、その本の紹介文を図書委員が書き図書室の廊下に掲示した。

ウ 言語活動など学力向上に結び付けた取組

- ・前期には国語科の「オツベルと象」の学習を通して、宮沢賢治の他の作品を本の帯で紹介した。また、後期には「近代小説を読もうキャンペーン」(「少年の日の思い出」)という単元を国語科で設定し、本のパンフレットを作り図書室に掲示した。



生徒が作った本の帯



本のパンフレットの掲示

## 3 成果と今後の課題

図書集会の読み聞かせを通して、本の好きな生徒はもちろん、読書嫌いの生徒にとっても、本が身近なものに感じられるようになったようだ。集会後に昼休みの図書室を訪れ、本を手取る生徒の姿が見られたことはうれしいことであった。昼休みに多くの生徒が図書室を利用するよう今後も工夫していきたい。

生徒は自分の選んだ本を人に紹介することは楽しいと感じているらしく意欲的に取り組んでいた。国語科では単元を貫く言語活動の充実についてさらに工夫をし、生徒の読書意欲を喚起したい。